

Happiness goes around

～しあわせはめぐる～

SDGs

わたしたちはコミットします！

しあわせがめぐるアクションを起こすのは「わたし」です。
今の自分を受け入れ、豊かな未来を
創造するために行動します。
「わたしと言えば○○○」
個人ドメインを設定し、
価値の提供と交換をしていきます。

SUNSHOW

SUNSHOW GROUPオリジナルブランド

SUNSHOW夢ハウス　A home for everyone ユメハウスZero　リビキャン LIVING CAN　キャンプできる庭　サステナブルリノベーション　SUNSHOW maintenance　SUNSHOW.BASE　SUN DAYs GOOD

〒500-8259 岐阜市水主町二丁目53番地　TEL.058-275-5556（代表）　http://www.sunshow.jp

UD FONT

2023.12

Japan. Committed to SDGs

SDGs REPORT 2023

2030年に向けた取り組み

SUNSHOW GROUP



当グループが今日あること、そして存分に働けることは、お客様や取引先はもちろんのこと、職場の仲間、家族といった周囲の多くの人々の支援があるからこそです。自分たちだけで今があるわけではありませんから、その方々に「感謝の心」を持つことを忘れません。全ての皆様に深い愛情と思いやりをもって接することで、そうした心を持った人づくり、心が伝わる仕事、物創りを行うことこそが当グループの使命であります。



代表

西岡徹人

経営理念

全ての皆様に感謝の心で愛情と想いやりのある人・物創り

1 誰にも負けない努力をすること。
2 謙虚にしておごらず。
3 毎日の反省（利己の反省および利己の払拭）
4 生きていることに感謝する。
（幸せを感じる心は“足るを知る”心から生まれる）
5 善行、利他業を積む。
6 感性的な悩みをしない。

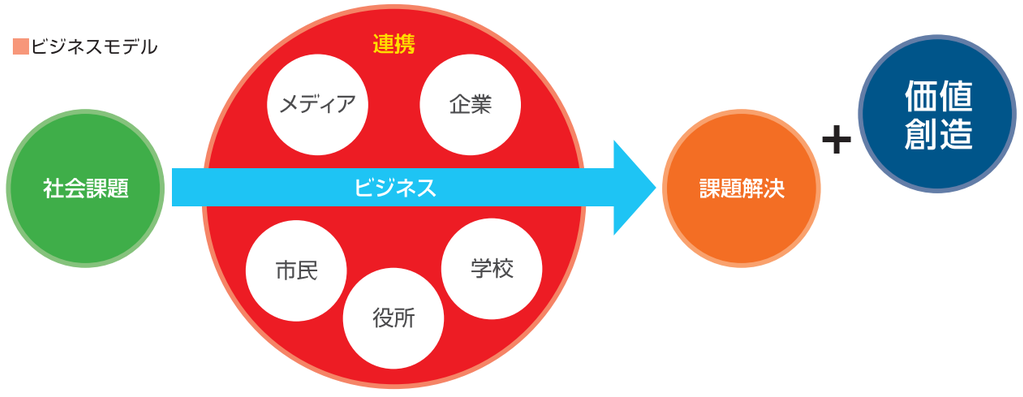
使命 MISSION

社会の課題をあらゆるパートナーと連携しビジネスを通して解決することで新たな価値を創造する

SUNSHOW GROUP × SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SUNSHOW GROUPは、新築注文住宅を提供する建築事業を中心に、外構事業、メンテナンス事業など事業の多角化を図っております。経営理念に「全ての皆様に感謝の心で愛情と想いやりのある人・物創り」を掲げ、岐阜から全国へ、そして世界へ当グループの想いを発信し、地元である岐阜に貢献していきたいと思っております。
そこで、世界基準の社会的な目標である、SDGsの達成に向けた取り組みを行い、理念達成に向けて具体的な活動を行っていきたいと考えております。当グループの経営理念を礎とした社会課題解決型のビジネスモデルと社内環境整備による女性活躍推進は、SDGsの理念「誰一人取り残さない」に沿った普遍性のある取り組みと認識し、企業の存在意義と永続的な活動のために、SDGsを経営戦略の中核に据えました。



SUNSHOW GROUP
24年の歩み



1999年~2010年
・西岡興業創業（社員3名）
・プラント工事事業部 発足
・外構事業部•土木工事 請負開始
・名古屋西スタジオ オープン
・N.SUNSHOW（株）設立

2012年
・自社ブランド SUNSHOW夢ハウス スタート
・クレド・リノベーション 子会社化

風土改革 開始

2013年
・カンガルー出勤（子連れ出社）開始
・ノー残業デー 開始
・代表自らがトイレ掃除 開始

2014年
・設計事務所「夢工房」開設
・女性管理職 誕生
・SUNSHOW夢ハウス 美濃加茂支店 開設

2015年
・就業規則 見直し
・インターンシップ 開始
・チーム夢子 誕生

女性活躍推進



2016年
・ダイバーシティ構築 開始
・女性支援団体との連携 ママが住みたい家 モデル化
・熊本市被災地応急工事 開始
・メンタルヘルス研修 実施
・内閣府 男女共同参画推進連携会議 議員
・厚生労働省 働き方改革ノウハウ獲得検討委員会 委員

働き方改革 開始

2017年
・岐阜県 子育て支援エクセレント認定企業
・岐阜市 男女共同参画優良事業者 受賞
・厚生労働省 働き方改革推進認定企業事務所
・厚生労働省 働き方改革ノウハウ獲得検討委員会 委員
・厚生労働省 過重労働解消検討委員会 委員
・国土交通省 建設産業女性活躍推進会議 事例発表
・キャンプできる庭 発表
・SUNSHOW Global Office 開設



2018年
・SUNSHOW.BASE 開設
・ダイバーシティ推進室 発足
・内閣府 男女共同参画推進連携会議 議員
・厚生労働省 過重労働解消検討委員会 委員
・厚生労働省 働き方改革認定企業
・厚生労働省 働き方改革認定講師
・第2回「ジャパンSDGsアワード」特別賞 受賞



2019年
・SUNDAYsGOOD開設
・株式会社レンゲの里岐阜と提携
・日本政府SDGs推進本部「次世代SDGsプラットフォーム」キャプテン就任
・一般社団法人WOMAN EMPOWERMENT PLATFORM(WEP) 創立
・SDGsバッジ販売による ひとり親家庭支援活動を開始
・11月11日 **三承工業創業20周年**
・SDGsフォーラム・シンポジウム 開催
・三承工業 新ロゴマーク 策定

2020年
・外構事業部からレジリエンス事業部へ名称変更 ―新ブランド リビキャンスタート
・SR(Sustainable Renovation)事業部 発足
・SUNSHOW夢ハウス 岐阜支店 新設
・一般社団法人SDGsマネジメント 創立
・一般社団法人WOMAN'S INDEPENDENCE FORUM 創立
・一般社団法人SDGsBASE 創立

1999〜2010 / 2012 / 2013 / 2014 / 2015 / 2016 / 2017 / 2018 / 2019 / 2020 / 2021 / 2022 / 2023 / 2030 Beyond SDGs

※青文字の項目は、社長西岡の経歴となります。

詳しい内容は 次の特集ページへ

2023年
・WEP主催イベント 【夢フェス〜大切な人にありがとうを伝えよう〜】共催
・みのかもSDGs推進パートナー登録
・ぎふSDGs推進ゴールドパートナー登録
・岐阜県プラスチック・スマート事業所『ぎふプラスマ！』登録
★岐阜県「SDGs講師派遣制度」講師登録
・岐阜県【ぎふ建設人材育成リーディング企業認定促進セミナー委託業務】受託
・岐阜県【岐阜県成長産業分野人材育成事業（次世代エネルギー）委託業務】受託

岐阜県では、「第2期SDGs未来都市計画」に基づき、持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを「オールぎふ」で進めていく取り組みの一環として、県内の学校や自治会など、地域にSDGsの有識者・取組実践者を講師として派遣し、授業や会合などで講演いただく「SDGs講師派遣制度」を創設しました。当社も講師派遣事業者として登録し、今年度は小学生に向けてSDGsカードゲームを実施させていただきました。このような制度以外からも中学校、高校からご要望をいただき同様に実施したほか、職場体験や学生からの取材に応じるなど次世代との交流を積極的に行いました。

2022年
・WEP主催「Z世代と考える新しいライフスタイル」フォーラムおよび「Generarion→Z ART PRIZE」協賛
・健康経営優良法人ブライト500認定
・SUNDAYsGOODイオンモール各務原店出店
・建築事業部新ブランド【ユメハウス→Z】発表 ブランド推進室　発足
岐阜県【ぎふ建設人材育成リーディング企業セミナー実施業務】受託
外務省【持続可能な開発目標（SDGs）推進本部運営支援業務】受託
・厚生労働省 中小企業のための女性活躍推進検討委員会 委員
・一般社団法人 地域価値創造研究所 監事
・健康投資推進会議 参画



2021年
・内閣官房国土強靭化推進室 第7回「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞）」準グランプリ佐々木則夫賞受賞（岐阜市立柳津小学校との連携事業）
第7回「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靭化大賞）」最優秀賞受賞
・健康経営優良法人2021 認定
・えるぼし認定3段階目
・「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク連携促進補助金事業 サンメッセ株式会社と共同
・2050年カーボンニュートラル宣言および三承工業株式会社協力業者会と連携協定締結
・一般社団法人 日本カーボンニュートラル協会 理事
・一般社団法人 レジリエンスジャパン推進協議会 地域戦略副本部長
・厚生労働省 中小企業のための女性活躍推進検討委員会 委員
・厚生労働省 中小企業におけるハラスメント相談体制実証検討委員会〈建設業の分野〉委員
・健康投資推進会議 参画

子育てに“感謝”と“喜び”を贈りたい

頑張る親子を応援する『夢フェス～大切な人にありがとうを伝えよう～』



段落 子育て環境は変化しており、核家族化の進行や地縁的なつながりの希薄化から孤立感や情緒不安定になってしまう親や、合理主義や競争主義などの価値観の中で育った世代にとって、努力しても思うようにならないことが多い子育てに喜びや生きがいを感じる前にストレスを感じてしまう親がいるという指摘があります。また、共働きや労働時間の増加により、子どもと一緒に食事を取るなどの子どもと過ごす時間が十分ではなくなり、親の子育て環境に影響を与えている要因とも考えられます。一方で、子どもにとって長時間、親子で一緒に過ごすことが、脳の発達性変化や言語理解機能に好影響を与えているという研究結果*がでています。

そのような背景から、女性活躍を推進する一般社団法人WOMAN EMPOWERMENT PLATFORMと共催し、お母さんと子どもを対象に、家庭環境の向上を目的とした子育支援イベント『夢フェス～大切な人にありがとうを伝えよう～』を開催しました。親子が一緒に過ごし共通体験をすることで、子どもの成長への気づきや承認されて喜ぶこどもの顔をみて幸福感が高まるなど相互作用からより良い子育て環境へ繋げていってほしいと願い、母の日に日頃の感謝の想いを伝える機会として企画しました。

今回のテーマである大切な人にありがとうを伝える方法として、メインブースに“ありがとうの木”を設置し、100名以上の“ありがとう”の気持ちがカラフルな花となって咲き誇りました。ステージイベントでは、スペシャルゲストとして登場した我武者羅應援團から、気合と本気の応援で会場に集まった参加者と共にお母さんに“ありがとう”を贈ったほか、地元高校生とキッズダンサーのダンスステージやバルーンショーが行われました。ブースには、フラワーアレンジメント、オリジナルバックづくり、お米すくい競争、アイシングクッキーなど様々な体験を通して楽しんでいただきました。

協賛企業59社からお力添えいただいたおかげで、延べ1,500名以上のかたにご来場をいただき、大いに賑わったイベントとなりました。今後も岐阜市内の子育て支援、女性活躍の推進を目指し、継続して開催していくようしております。

*東北大学加齢医学研究所、「親子で過ごす時間が子どもの言語理解と関連脳領域に影響～脳携帯イメージングにより解明～」







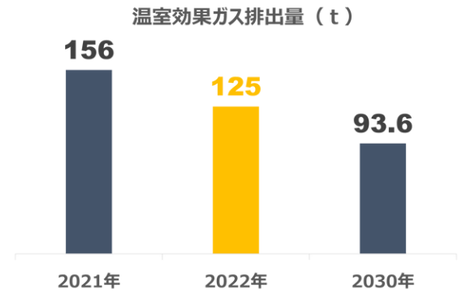
ランドセル寄贈

本年度もひとり親家庭への支援として、1年間の請求書下3桁の合計金額と同額分をランドセル寄贈という形で岐阜市母子寡婦福祉連合会へご支援させていただきました。夢フェスのステージにて岐阜市子育て支援課の立会いの下、寄贈式を執り行い、黒田会長より感謝状をいただきました。また、黒田会長のご厚情によりランドセルは令和６年度入学予定のお子様に関係者より贈呈し、贈られたお子様からは「ありがとうございます。勉強がんばります」と感謝と笑顔をいただきました。



カーボンニュートラル報告会の実施

2021年末に2050年カーボンニュートラル宣言を行って以降、委員会活動を中心に1年間の削減目標を前年対比マイナス10ｔ、総排出量を146ｔと定め、協力業者会を交えた勉強会や個人の意識向上を図るステッカー制作など、削減に向けた活動を行ってきました。その結果、125ｔという目標以上の成果を出すことができ、活動実績と成果報告会をオンラインにて実施しました。また併せて、今後の活動への動機付けとなることを期待し、中小企業でも先進的に脱炭素経営に取り組む株式会社大川印刷製造部印刷課印刷オペレーターの佐々木順一氏を講師にお招きし、環境印刷のお話から自社取り組み事例と成果についてお話をいただきました。当社でも取り入れていける考え方のポイントとして「浸透」ではなく「共感」「共有」であると示してくださり、多くの社員の参考となりました。



排出量削減に向けて取り組んでいること

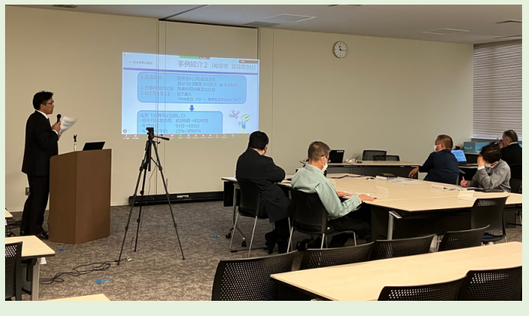
[Scope1・２]
・毎月の車両走行距離管理
・再エネ電力の一部導入
・本社全灯LEDへ切り替え
・乗り合わせを推奨
・昼休憩時の消灯
・勤怠管理　（主に残業。残業＝電気も残業）
[Scope3]
・ZEH対応住宅で省エネと創エネを実現『ユメハウス→Z』の開発
・販売することを前提に展開しているため、解体による廃棄をゼロ
・資材在庫管理を行い、廃棄量の減少
・建築施工時に発生する木材は資材を使用し、ワークショップを開催

個人で取り組んでいること

アイドリングストップ
短距離の移動に車を出さない
乗り合い
資源の分別
使用しない電源は主電源から落とすこと
余計なものは買わなくなった。考えて買い物をするようになった。
マイバッグを常に携帯
徒歩で通勤
支店の緑化
電気、水道の節約
休日は極力クルマに乗らないようにしている
公共交通機関での移動
車の発進をゆっくりしている
レベルレスの商品を選ぶ

岐阜県入札役務への挑戦

入札役務に挑戦することになって2年目、本年度は、「ぎふ建設人材育成リーディング企業認定促進セミナー」「岐阜県成長産業分野人材育成事業（次世代エネルギー）委託業務」を運営させていただきました。これまで講演やセミナーとのかかわり方としては聴講者以外に登壇者という一側面から全体を見て運営者の動きをインプットしていましたが、運営側という別側面から携わるようになったことで、それまで蓄積した経験や情報をアウトプットすることができており、地域に恩返しさせていただいています。当社の存在意義と価値を高めていただいたのは、地域からの評価があっての事と感謝しておりますので、ひきつづき、入札役務を通して地域へ還元してまいります。





SUNSHOW 夢ハウス

めざす姿

高額な住宅ローンで生活費を圧迫することを避けたマイホーム計画を可能にすることで、ひとり親世帯の支援や家族間の充実、次世代を担う子どもへの投資に繋げ、相対的貧困の解消に取組む。また、日本での定住を希望する外国籍の方に対して、住宅取得難解消に向けたサポート体制や地域コミュニティ醸成への支援を整備し、一人でも多くの外国籍の方と共生していける地域社会づくりを行う。

ナショナル・インディケーター 子供の貧困対策に関する大綱、外国人の受入れ・共生のための総合的対応策

ローカル・インディケーター 岐阜県子どもの貧困対策アクションプラン、第3次美濃加茂市多文化共生推進プラン

メインターゲット(サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標			2023年度実績	
			項目評価	数値評価	期間	活動実績	評価
1.2 1.4 (4.2)	住宅ローンの借入れを低くし、返済による負担の軽減を図る	土地の費用及び施工費の削減率 (2018年対比)	規格化プランを行い工期の短縮による削減	7%の削減	～2030年	ー	未達
			土地一括仕入れによる、土地仕入れコスト削減			20%削減	達成
			棟数増による、大口一括材料仕入れで、資材コストの削減			資材高騰により未達	
1.2 1.4 10.3	一人でも多くの方に、安住を提供していく	直営の営業支店の開設	岐阜西部エリアに支店を開設	1支店	～2024年	ー	計画中
		年間の受注数	年間100棟の受注	100棟	～ 2025年	62 棟	62%達成
		地域コミュニティとの融合の推進	外国籍の方に向けた、専門分譲企画の実施	1回／年	～2030年	1回	達成
		外国籍の方の正規雇用を推進する	外国籍の方が活躍できる業務環境を整備	4名の正規雇用	～ 2025年	4名	達成
10.7	正しい知識を深め、安心できる住宅取得の推進	ローンの申し込みから、契約率の向上	ローンセミナーの開催	1回／ 2か月	～2030年	6回開催	達成

ターゲットに対して期待する効果

1.2
ターゲット：2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。
期待する効果：世帯あたりの教育に充てる費用拡大を行い、教育環境や進学環境の充実を支援し、相対的貧困の連鎖解消へと繋がる。

1.4
ターゲット：2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。
期待する効果：脆弱層を含む全ての人に基礎的サービスや、経済的資源についても平等な権利を持つことができる機会が、より広範囲に広がる。

(4.2)
ターゲット：2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達支援、ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。
期待する効果：子どもの健康面や学習面における環境の充実を支援し、日常生活の質向上を図る事で、家族の幸福度をあげ順調に子どもが発育できる世帯が増える。

10.3
ターゲット：差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。
期待する効果：外国籍の方のハンデを軽減し、より多く活躍できる場の提供を行い機会均等に繋げる。ネットワークの垣根を取り払う事で共に成果を作る環境の促進に繋がる。

10.7
ターゲット：計画に基づき良く管理された移民政策の実施などを通じて、秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する。
期待する効果：外国人のコミュニティ不参加による治安悪化を防ぎ、低価格で高品質な住宅の提供を行い、良質な関係を築き安心して住み続けられる町づくりに寄与することができる。

社会課題

- 日本の相対的貧困は6人に1人（子どもは7人に1人）であり、特に母子家庭の相対的貧困率は51.4%と非常に高くなっているのが現状です。そのような状況下、様々な要因により子どもが希望や意欲をそがれやすい傾向があり、自己肯定感の低下や社会的損失にもつながるだけでなく、世代を超えて連鎖していきます。この連鎖を食い止めるため、子どもたちが夢や希望を持つことのできる社会の構築を目指し、子どものことを第一に考えた適切な支援を包括的にかつ早期に講じていく必要があるといえます。
- 日本政府は、日本人と外国の方が安心して安全に暮らせる社会の実現に寄与する目的を達成するために、受け入れる側の日本人が、共生社会の実現について理解し協力するよう努めていくだけでなく、受け入れられる側の外国籍の方もまた、共生の理念を理解し、日本の風土・文化を理解するよう努めています。

Pick up!

多文化交流イベント『フットサル大会』





当社とフィットネスジム TOP☆1(可児市)の代表であるダニロ氏は、“日本で頑張る外国籍の方を応援したい、夢や目標をもってほしい”という共通の思いがあり、これまでに子どもたちにキックボクシングの体験会や、食や文化に触れる体験イベント、災害について考えるきっかけとなるイベントなどを多数開催していきました。共通体験をお互いにすることで交流が生まれる場を創出し外国籍の方が地域コミュニティと共生していけることを願い取り組んできました。
岐阜に住まう多様な国籍の人が集い、交流を深める機会を持つことを目的として2023年1月8日フットサルパークおがせ(各務原市)にてフットサル大会を開催しました。
今回はフィットネスジム TOP☆1(可児市)、NPO法人 BRIDGE(美濃加茂市)、株式会社みらい(岐阜市)、三承工業協力業者会と連携し日本やブラジル、ベトナムなど多様な国籍、異業種、フットサル経験も異なる人たちから生成された、中学生から成人の12チームが登録し、全21試合を行いました。当日は観戦客を含め約160名を動員し。終始大盛り上がりの様子を見せ、各チームの一体感や他チームを応援する姿、相手チームの勝利を拍手でたたえる姿が印象的でした。

ブラジル人営業パートナーとの連携

今期より美濃加茂支店を中心に、ブラジル国籍のOBや地元住民の方と営業パートナーとして連携を開始しました。美濃加茂市や可児市の外国籍の方が多く暮らす地域では、家族と安心して暮らせるマイホームの購入を希望されるお客様が多いという現状があります。実際にSUNSHOW夢ハウスで住宅を購入したOB様の経験や、外国籍の方が住宅購入を検討する際の知識等を学ぶ勉強会を開催し、身近に住宅購入を検討している方へアプローチを行う営業パートナーとして活動しております。同じ言語でコミュニケーションをとることのできる営業パートナーを通して、弊社の思いにより強く共感してもらうことが可能となり、外国籍のお客様のマイホームの夢をサポートする体制をより強化することに繋がっております。また8月5日にはSUNSHOW夢ハウスのOBのお客様の自宅でブラジル国籍の営業パートナーとの交流会を開催し、弊社のスタッフと言葉の壁を超えた交流を行いました。交流会では営業パートナーの方への感謝の意を代表の西岡より改めてお伝えさせていただき、日頃から連携しているキックボクシングジム オーナーのダニロ・ザノリニ氏から激励の言葉をいただきました。

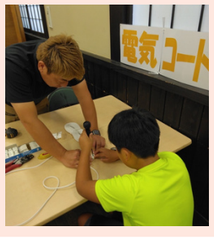
七夕まつりの開催で地域交流



4年ぶりに本社にて七夕まつりを開催し、約200名のお客様にご来場いただき終日大賑わいのイベントとなりました。会場では、協力業者会よりフランクフルトや焼きそばなどの飲食が無償提供され、お子様を中心に楽しんでいただけるスーパーボールすくいや輪投げ、射的などの縁日ブースもたくさん用意しました。七夕祭りということで会場の各所に笹を設置し、来場者が手作りの短冊に願い事を書き、笹の枝に掛けて楽しみました。この手作りの短冊は地元の中学生が職場体験として訪れた際に制作してくれたもので、色によって願い事が変わることを調べてくれたため、カラフルな短冊が準備でき、笹が彩られました。









社会課題

- 家庭の社会経済的状況の違いによる学校外教育費への充当の差を背景に、学力の差に関係すると様々なデータで指摘されています。この差を埋めていくため、SUNSHOW夢ハウスはひとり親家庭への支援を始め貧困の連鎖を断ち切るために、高額な住宅ローンで生活費を圧迫することを避けたマイホーム計画を可能にすることで、子どもの夢や教育への投資へ繋げてもらう機会とします。
- 人口減少や高齢化が進行する中、日本の労働力を支える外国籍の方の役割は重要性を増しています。一方で市民として地域社会を構成する一員として生活されていく中で、国籍や文化、言語を理由に様々な場面で孤立させてしまうことを避けるため、SUNSHOW夢ハウスは自治会長や地域のリーダーへのあいさつ回りに同行する支援をしています。

キャンプできる庭 SUNSHOW & RESILIENCE

めざす姿

岐阜市及びその近郊における戸建て住宅において、「防災意識の高い住宅づくり」を発信し、行政に頼り切る防災ではなく、各世帯の自助意識を高めていく。震災等のあらゆる自然災害から、家族が自給自足で生活できるだけの環境を有する件数の増加と、住み続けていきたいと思える街づくりを提唱していく。

ナショナル・インディケーター 国土強靭化アクションプラン　**ローカル・インディケーター** 岐阜県強靭化アクションプラン

メインターゲット（サブターゲット）	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標			2023年度実績	
			項目評価	数値評価	期間	活動実績	評価
11.5 (1.5)	防災意識の向上や、知識提供の場を作る	防災啓発活動への参画	防災啓発活動イベントの開催	1回/年	～2030年	5回	達成
			防災啓発活動イベントへの参加	1回/年		1回	達成
	災害に対応できる環境の整備を提唱する	被災してから自力で生活できる世帯数を増やす	お引き渡しをする顧客へ防災グッズの提供	全棟対象	～2030年	全棟	達成
			防災を軸に置く新商品ブランドの開発、提供	1件商品化/年		1件	達成
			キャンプのできる庭を三承工業の標準プラン化し提供していく	50%の提供	～2030年	80％	達成

ターゲットに対して期待する効果

11.5

ターゲット　：2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

期待する効果：自助意識の向上と、有事の際の備えを強化し、自然災害などにおける被災者を削減する。

(1.5)

ターゲット　：2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靭性（レジリエンス）を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。

期待する効果：自助意識の向上と、有事の際の備えを強化し、極端な気象現象や自然災害などにおける被災による被害レベルを軽減する。







社会課題

少子高齢化社会において、建設業は誰もが安全で安心して暮らしていけるまちづくりを行う重要な役割の一つとして位置づけられているといえます。この安心、安全を阻害する自然災害や空き家の増加は、社会・経済そのものを低迷させることに加え防災、防犯面からも問題視され、企業規模に関わらず対策を講じる必要があります。

リスクと機会

- 自然災害発生後、自社の事業継続再開の目処が立てられず、被災したお客様への応対の遅れや地域の復興支援が不可になった場合、自社の企業価値を低下させることが予測されます。
- 各家庭の庭に平時から使用可能な災害対応力の高い設備を提案し施工することで、不測の事態でも、各世帯が自助・共助によって支え合い、ひいては自社の価値向上につながると考えます。

Pick up!

避難できる庭プロジェクトin木田小学校





　前回の避難できる庭プロジェクトに続き、レジリエンス授業の依頼をいただき第2回となる当プロジェクトを岐阜市立木田小学校の4.5.6年生の皆さんと行いました。前半は熊本県や東北地方で発生した大震災でのボランティア活動を中心に、地震の怖さと避難生活の厳しさを知ってもらうための授業を行いました。後半は、実際に地震が起こり家族と近所の人と一緒にお庭に避難することになるという状況を想定したお庭づくりをグループワークで行いました。
まだあまり地震についての勉強を深くしていなかったとのことでしたが、前半の授業を参考に小学生ならではの広い想像力と自由な発想で、どのグループも素敵なアイデアを発表してくれました。
　授業後のアンケートでは、今回のプロジェクトのことを家族に教えたいと答えてくれた生徒さんは82％に。「普段の準備が大切だと分かった」「地震の怖さが分かったし、対策したいと思った」といった感想をたくさん頂きました。また中には「普段からお庭に避難できる準備をしたい」「避難所がいっぱいにならないようお庭に避難したい」など、お庭があることの良さや在宅避難の大切さを実感してくれたような感想をいただき、『キャンプできる庭』の私達にとっても実りある授業となりました。当プロジェクトを通して完成したお庭は各務原市のモデルハウスに施工し、教頭の石田先生にもご覧頂きました。モデルハウスを見学にいらっしゃったお客様にも、好評を頂くことができました。

避難できる庭プロジェクトin柳津小学校





　岐阜市立柳津小学校の4年生のみなさんと、避難できる庭プロジェクトを行いました。柳津小学校で当プロジェクトを行うのは今回で2回目となりました。
　前回のプロジェクトで実際に施工したお庭が柳津小学校の近くにあるということで、今回は初日にお庭の見学を行い、一週間後に見学を受けて考案した避難できる庭を発表して頂くという2段階の構成で開催しました。
見学して頂いたお庭の紹介にて「6年生の先輩達が、皆と同じ4年生の時に作ったお庭だよ」と伝えると、最初は「こんなにすごいお庭は作れないよ！」と驚きや不安も見られた生徒さん達でしたが、実際に見て考えることでイメージがつきやすく、「〇〇とか置いてみてもいい！？」「ここってもっとこうできるよね」と、その場でたくさんアイデアを出してくれ、発表の際にも更にパワーアップしたデザインを見せてくれました。
発表時も他グループのデザインに共感する生徒さんや、新たな発想に驚く生徒さんの姿が印象的でした。
　今後も引き続き、岐阜市内及び近郊の学校と連携し、学校教育に参画していくことで、地域のレジリエンス力向上に向けて、より良いまちづくりと人創りに貢献していきます。

防災フェアinカラフルタウン





　岐阜市立柳津小学校の4年生のみなさんと、避難できる庭プロジェクトを行いました。柳津小学校で当プロジェクトを行うのは今回で2回目となりました。
　前回のプロジェクトで実際に施工したお庭が柳津小学校の近くにあるということで、今回は初日にお庭の見学を行い、一週間後に見学を受けて考案した避難できる庭を発表して頂くという2段階の構成で開催しました。
見学して頂いたお庭の紹介にて「6年生の先輩達が、皆と同じ4年生の時に作ったお庭だよ」と伝えると、最初は「こんなにすごいお庭は作れないよ！」と驚きや不安も見られた生徒さん達でしたが、実際に見て考えることでイメージがつきやすく、「〇〇とか置いてみてもいい！？」「ここってもっとこうできるよね」と、その場でたくさんアイデアを出してくれ、発表の際にも更にパワーアップしたデザインを見せてくれました。発表時も他グループのデザインに共感する生徒さんや、新たな発想に驚く生徒さんの姿が印象的でした。
　今後も岐阜市内及び近郊の学校と連携し、学校教育に参画していくことで地域のレジリエンス力向上に向けてより良いまちづくりと人創りに貢献していきます。

SUNSHOW maintenance

めざす姿

だれもが"働きやすい"職場環境づくりと"働きがい"のある労働環境づくりに注力することで、若年者や女性の入職者を増やし、また健康を保持し技術力向上に向けて、だれもがあらゆる機会に、あらゆる場所において学ぶ機会を提供します。それにより、「地域のインフラの整備・維持」を支え、地域社会の安全・安心の確保を担う守り手となることを目指します。

ナショナル・インディケーター 建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画、女性の定着促進に向けた建設産業行動計画

ローカル・インディケーター 岐阜県男女共同参画計画

メインターゲット(サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標			2023年度実績	
			項目評価	数値評価	期間	活動実績	評価
3.4 4.4 8.2 10.3	個々の能力向上を支援し、安定した労働力と技術を提供	職能系資格取得の推進	国家資格取得増加数	3種	～2025年	1種	進行中
		将来の担い手の育成・発掘	若年者・外国籍の方の正規雇用	2名	2023年	4名	達成
		労働災害防止対策	ヒヤリハット事例の共有	作業場3S 1回／月 実施	～2030年	毎月実施	100%
		定期的な健康診断を実施	健康診断受診率	100%受診率	～2030年	100%	達成

ターゲットに対して期待する効果

3.4

ターゲット ：2030年までに、非感染症疾患（NCD）による早期死亡を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。自助意識の向上と、有事の際の備えを強化し、自然災害などにおける被災者を削減する。

期待する効果：一人ひとりの心身の健康が企業の基盤となるため、健康づくりを進め生活習慣病を予防することにより健康的な生活をおくる。

4.4

ターゲット ：2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

期待する効果：自己の人格を磨き豊かな人生を送ることができるように、あらゆる機会において学習する場を提供する事で、生きがいや働きがいへと繋がる。

8.2

ターゲット ：高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

期待する効果：様々な自己成長の場の提供により、課題解決力や創造力を育み、高いレベルでの価値の提供や、より効率的で効果的な生産現場へと繋げる。

10.3

ターゲット ：差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。

期待する効果：外国籍の方のハンデを軽減し、より多く活躍できる場の提供を行い機会均等に繋げる。ネットワークの垣根を取り払う事で共に成果を作る環境の促進に繋がる。

社会課題

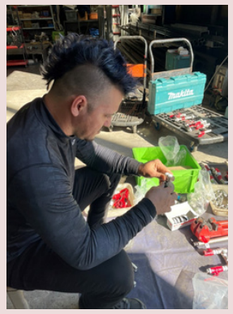
- 建設業の就業者の年齢構成について、55歳以上が約3割を占める一方、29歳以下の若手が約1割となるなど、全産業に比べ、高齢化と若手の比率の低下が著しく進行しています。
- 外国人の受入数が年々増加していることから、より充実した監理を実施するとともに、外国人が社会の一員として円滑に生活できるよう受入れ環境の整備を進め、外国人受入れの更なる円滑化及び適正化を実現することが必要です。
- 日本の社会インフラは高度経済成長期に集中的に整備され、今後20年間で、建設後50年以上経過する施設の割合は加速度的に高くなる見込みであり注71、一斉に老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新することが求められている。

リスクと機会

- 若者や女性の建設業への入職や定着の促進などに重点を置きつつ、働き方改革を着実に実行し、魅力ある職場環境を整備することにより、人材確保・育成を進めていくことが重要です。・社員一人ひとりのパフォーマンスを高めるために、人材への教育投資を積極的に進めることで最終的には大幅な業務効率化、社員ひとり当たりの労働生産性を引き上げることが可能となります。
- 若者に早い段階で建設業を具体的な目標として入職してもらうとともに、その後も定着し続ける環境づくりを図るため、高等学校（工業科、普通科）や高等専門学校の先生・生徒と建設業界がつながる機会として、出前授業などへ積極的に参加していきます。

Pick up!

脱炭素経営への要請



プラント設備においても、サプライチェーンへのカーボンニュートラルの実現に対する取組対応が求められるようになりました。当社は、いち早くスコープ１と２の算定を行い温室効果ガス排出量を把握し削減目標値を設定していたため、脱炭素経営に取り組む重要性と優位性を感じるとともに今後さらに厳しい要請に対し、対応できるような活動を実行し継続していく必要性も感じております。現状、車移動によるエネルギー使用が最も高い環境負荷となっており一番の課題となっていることから、極力乗り合わせをを行い使用量を減らしていく努力を行っております。また材料や道具のメンテナンスを行い、無駄を省き効率よく作業ができるように管理も徹底しております。

多様性と共生



少子高齢化による人手不足の現状から多様な人材の活用が注目されている中、日本では外国人労働者の数が増加しています。国内の外国人労働者の受け入れは右肩上がりで増加しており、2021年10月末時点での外国人労働者数は172.7万人となり、過去最高値となりました。プラント設備課でも外国人労働者を新たに2名受け入れ、3名へと増加しました。文化や価値観が異なる外国人との連携には、わかりやすく丁寧に教えることが必要でした。この経験を通じて、新しく入社した外国人労働者に対するわかりやすく丁寧な教育は、既存社員にとって自分の仕事を見直す良い機会となりました。また、新たな仲間が増えたことで残業時間の削減や有給休暇の取得率の向上が実現し、社員のワークライフバランスが改善されました。誰もがディーセント・ワークを実現できるよう、今後も業務改善に努めていきます。

時代の変革に対応するためのリスキリング戦略



事業活動における外部環境の急速な変化の中、人手不足がますます深刻化しており、人材開発・育成の必要性が一段と高まっています。テクノロジーの進化が驚異的な速さで進み、知識や技術は絶えずアップデートされています。それゆえ、かつて学んだことがすぐに古くなってしまいます。

当プラント設備課でも、知識・技術の変化に適応するためにリスキリングを積極的に行っており、下水道排水設備工事責任技術者・給水装置工事主任技術者の試験に合格しました。社員に新しいスキルを身につけてもらうことで、課内において新たな業務内容が増加しました。現在の仕事をアップデートすることで、働きやすさや生産性向上、そして業績向上に直結しやすくなり、さらにはモチベーションの向上にも繋がると考えています。

今後もリスキリングを推進し、組織に新しい風を吹き込み、時代の変化に敏感であり続け、常に学び続けるマインドを持ち続けます。

SUN
DAYs
GOOD

めざす姿

情報発信基地として、環境配慮した商品やフェアトレードなどエシカル消費を市民に広く訴求する役割を果たし、体験型のイベント開催を通してSDGsを身近に感じてもらう機会を創出。さらには、産官学連携によりそれぞれの取り組みが有機的に統合し合い、社会課題解決に貢献することを目標とする。

ナショナル・インディケーター SDGsアクションプラン2022、消費者基本計画

ローカル・インディケーター 岐阜県SDGs未来都市計画、岐阜県消費者施策推進指針

メインターゲット(サブターゲット)	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標			2023年度実績	
			項目評価	数値評価	期間	活動実績	評価
17.17	SDGsの発信を行い、持続可能な社会実現に寄与する	SDGsを広め、行動変容高める	SDGsを軸にしたイベントを開催もしくは出店	2回/年	～2030年	5回	達成
			SDGsセミナーなどへの参画及び登壇	50回／年		50回越	達成
		各種団体とのコラボ	オリジナル商品の展開	1個／年		1商品	達成
12.8 (12.5)		エシカル消費の推進	エシカル消費を訴求するキャンペーンの実施	5回／年	2030年	12回	毎月実施

ターゲットに対して期待する効果

17.17
ターゲット ：さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。
期待する効果：SDGsの啓発活動をはじめとする社会貢献活動を提唱し、パートナーシップの輪を広げ目標に取り組む事で、地域社会の持続可能な成長の実現に繋がる。

12.8
ターゲット ：2030年までに、あらゆる場所の人々が持続可能な開発および自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
期待する効果：消費者の消費活動自体が未来に向けた投資であるとの意識の下、人や社会・環境に配慮して消費者が自ら考える賢い消費行動、いわゆるエシカル消費に関する取り組みを体系的・総合的に進める。







社会課題

前身のMDGs(Millennium Development Goals:ミレニアム開発目標)は主として開発途上国向けの目標でしたが、SDGsは、先進国も含め、全ての国が取り組むべき普遍的(ユニバーサル)な目標となっています。

しかしながら、これらの目標は、各国政府による取組だけでは達成が困難です。企業や地方自治体、アカデミアや市民社会、そして一人ひとりに至るまで、すべてのひとの行動が求められている点がSDGsの大きな特徴です。

まさにSDGs達成のカギは、一人ひとりの行動に委ねられているのです。

※外務省JAPAN SDGs Action Platform
基礎資料:SDGsの概要及び達成に向けた日本の取り組みより抜粋

リスクと機会

一企業のみでできることは限られております。特に建設業界においては、様々な業者様が協力し合うことで、はじめて一つの現場が出来上がります。

当社では協力いただいている業者様が主体的に「協力業者会」を発足し、より良い現場づくりを応援していただいております。この様に、それぞれの分野に精通したプロフェッショナルが協力しあうことで、高い効果を生み出すことができます。

これまでも他分野の企業様やNPO法人様とのコラボレーションによる商品開発や、イベント開催のほか、働き方改革の実践ノウハウを伝える講師として、政府・地方公共団体主催のセミナーに登壇したり、会議に参画したりと、各分野のプロフェッショナルとパートナーシップを組み、岐阜から全国へ発信を続けていきたいと考えております。

Pick up!

夏休み企画　子ども向け職業体験会



雑貨屋さんの体験会として、SDGsについて少し学習した上で、接客から商品の提供、店内の掃除などを行っていただくプログラムをご用意し、2日間で16名の小学生が参加してくださいました。参加者たちは、「いらっしゃいませ」と元気いっぱい大きな声で挨拶できる子もいれば、恥ずかしくてモジモジしてしまった子など、一人ひとりがみんな違い、今しか出せないその子の個性的がありました。

参加者同士はお互いに褒めあったりフォローしたり、時には注意し合ったりアドバイスをもらったりと、学年や性別に関係なく、短い時間でも様々な関係性を築くことができました。壁も忖度もない子どもならではの交流の仕方を見て、こちらも新たな学びがありました。この体験を通して、参加者たちが何か新しい気づきや成果を得られたら嬉しいです。

SUNMARCHE（サンマルシェ）を開催

約2年ぶりとなった「SUNMARCHE（サンマルシェ）」をアクティブGにて開催いたしました。このマルシェでは、生み出すプロセスから大切にする素敵な作り手さんたちが丁寧に作ったものや商品のストーリーがみえるもの、それらを見つけあい、「つくる人」と「つかう人」をつないでいけるマルシェを目指しています。食品や雑貨、ワークショップなど岐阜を中心に活動する24ブースが出店してくださり、多くの来場者が新しい商品との出会いと作り手さんとの会話を楽しんでいただけました。体に取り入れるものを変えるだけで体調に変化が現れますし、海洋プラスチックを使った万華鏡づくりやダンボールコンポスト、Tシャツをリメイクしたエコバックづくりなどのワークショップを通して、“捨てる”選択から工夫すれば新たに形を変えて日常生活の一部として生かしてもらえる知恵をご提供することができました。継続して開催していけるよう縁をつないで大切にしていきます。

出店機会の増加と認知拡大に期待





“SUNDAYs GOOD”もおかげさまで2店舗を運営させていただいており、4周年を迎えました。未来へつないでいこうと同じ思いをもって活動するつながりが増えてきており、出店機会が増えてきております。「フェアトレードデイ垂井」（主催：フェアトレードデイ垂井実行委員会、フェアトレードタウン垂井推進委員会）や「ギフト林檎館のもったいない！秋のマルシェ」（主催：ギフト館林檎 関店）、「SDGs体験イベント～大垣・西濃・岐阜のSDGsを見て、きいて、触れて体験しよう！」（主催：大垣西濃信用金庫）、岐阜車体工業株式会社様の食堂へ社員の方向けに出店させていただくことができ、店舗の認知度向上やファンづくりにつながっています。当店のミッションとしては、豊かな未来へバトンをつないでいく商品の提供やワークショップ開催を通して個人のエシカル消費を促進していくことです。岐阜のエシカルショップといえば“SUNDAYs GOOD”と言っていただけるように、イベント出店やお客様からのご紹介、日々のSNS発信をし続けていきます。

オリジナル商品販売開始



贈答用としてもご利用いただけるオリジナル商品「さんでいずの とまとじゅうす」「さんでいずの りんごじゅうす」の販売を地元企業の株式会社ふるさと企画様と連携し、開始いたしました。岐阜はトマト生産量が全国トップ10に入るほど多く、その中心的な生産地は中農地域です。しかし一方で、農家さんが丹精込めて育てた完熟トマトでも規格外で食品ロスとなってしまうものもあるため、それを加工し販売することでおいしさは変わらず、生産者のかたの収入の安定にもつながります。商品は、夏秋とまと「桃太郎」という品種から作られたトマトジュースで、フルーツのような甘みとうまみを兼ね備えた滑らかなのど越しが特徴です。生産者と消費者が互いに笑顔になれる商品ですので一度ご賞味ください。

チーム夢子

めざす姿　成長戦略として、誰もが活躍できるように多様な働き方を尊重した制度や人財育成、DX化を積極的に取り入れ、子育て女性の雇用機会創出や女性管理職の登用を図りキャリアアップを積極的に取り組んでいくことで、全社員のいきがい、やりがい、働きがいへと繋げる。

ナショナル・インディケーター　第5次男女共同参画基本計画、成長戦略実行計画　　**ローカル・インディケーター**　岐阜県男女共同参画計画

メインターゲット（サブターゲット）	自社取組内容	社内指標／指針	業績達成目標			2023年度実績	
			項目評価	数値評価	期間	活動実績	評価
5.1 5.4	働きたいと思っている女性の雇用機会を増やす	女性社員比率55%を目指し維持する	産前産後休暇および育児休暇復職率	100%	～2030年	1名	達成
			ハラスメント相談件数	0件		0件	達成
5.1 5.5 8.2 (4.4)	個々の能力向上を支援および適正な評価を推進する	女性管理職比率30%を目指し維持する	女性管理職候補者比率	50%	～2030年	38.8%	推進中
		職能系資格取得の推進	国家資格取得者	10名	2025年	累計６名	推進中
8.5	多様な働き方を尊重しワークライフバランスを推進する	残業時間数、休日出勤日数の削減	ICT, RPAの活用で業務効率向上	一人当たり2時間削減／月	～2030年	1人当たり昨対比1時間削減/月	推進中

ターゲットに対して期待する効果

5.1
ターゲット　：あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
期待する効果：女性に対する先入観を撤廃し、男女同じ目線での業務分担、成果に対する報酬制度を推進し、女性に対する固定観念の修正に繋がる。

5.4
ターゲット　：公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
期待する効果：それぞれの家庭における育児や介護の負担を、適正に理解し、行動を尊重することで、家庭内からくるハンデを取り払い、平等な評価へと繋げる。

5.5
ターゲット　：政治・経済・公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
期待する効果：平等なキャリアアップの機会を提供し、女性も抵抗なく管理職に対する意欲が湧く職場環境を整備する事で、多様性で平等な意思決定の場を増やす。

8.2
ターゲット　：高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
期待する効果：様々な自己成長の場の提供により、課題解決力や創造力を育み、高いレベルでの価値の提供や、より効率的で効果的な生産現場へと繋げる。

8.5
ターゲット　：2030年までに、若者や障がい者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。
期待する効果：身体的な障害や育児や介護との両立など、多様性のある働き方制度を拡充し、様々な環境下の人も活躍できる環境を整備し、失業動機の低減に繋げる。

(4.4)
ターゲット　：2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
期待する効果：自己の人格を磨き豊かな人生を送ることができるように、あらゆる機会において学習する場を提供する事で、生きがいや働きがいへと繋がる。

社会課題

人口急減・超高齢化が及ぼす影響として、総人口に占める労働力人口の割合が2060年には約44%に低下することから、経済活動が左右されることが懸念されています。その中で、子育て世帯（25 ～ 44歳）の女性の就業率は、第一子出産前後の5割弱が離職しており、再就職にあたっては非正規雇用者となる場合が多く、雇用の不安定や低賃金といった問題が生じるだけでなく、長期的なキャリア形成を通じた女性の十分な能力の発揮を阻む一因となっています。
固定的な性別役割分担意識に基づく男性を中心とした社会制度や慣行を背景として、性差別による偏見や男女間の格差が依然として存在しており、管理的職業従事者における女性の割合も低い水準にとどまっています。

※参照　内閣府の政策「選択する未来」(3)人口急減・超高齢化の問題点

Pick up!

TikTokでカンガルー出勤を発信

自社の新たな発信の試みとしてTikTokを開始しました。取り組みの目的としては、１．SDGs・カーボンニュートラルの普及、２．ダイバーシティ＆インクルージョンの浸透、３．Z世代への訴求、４，人材の採用の４つとなっており、これらの目的において特に人材の採用においては“カンガルー出勤をさせてほしい”と強い意志をもって応募いただいたため、1人を採用に至りました。【こどもを連れての出勤大歓迎】の再生回数は１５０万回を超えており、全国の子育て世帯から「近くにあれば絶対働きたい」「理想な会社」「一生働ける会社」など賛同の声を多くいただいております。また、たくさんの質問もいただいており、カンガルー出勤への興味・関心の高さが読み取れます。業種によっては導入が難しいかもしれませんが、働き方の選択肢として導入されることで人材確保につながっていきますし、子育てを地域ぐるみでおこなっていくことで、職場の雰囲気が柔らかくなりますし、男性の育休取得へのハードルも下がります。こどもに与える影響としては、社会性が身につきますので、当社としては導入したことで改善がみられております。ご要望があれば企業へのカンガルー出勤導入へのサポートを行います。

TikTokはここから
ご覧いただけます！



岐阜大学ビジネスデザイン実習の受け入れと女性管理職への課題

令和５年度社会システム経営学環３年生８名のビジネスデザイン実習の実習支援先企業として、受け入れを行いました。学生が実際の企業・組織に深く入り込み、経営的な課題を明確化し多面的な視点で課題解決策を練り上げ、実際に提案することで、経営・ビジネスに必要な様々な知識・スキルを実践的に身に着けることを目指す実習です。今回のテーマは『リブランディングによる自社の若者世代への訴求』とし、学生のかたに各回来社いただき、会社見学やヒアリング、社員との交流を通して得た情報から専門的な分析の結果、中間発表では当社の経営課題は「コミュニケーション・ギャップ」であり、具体的には世代間のジェネレーション・ギャップと性別間のジェンダー・ギャップであると定義づけられました。その解決法として３つの提案をいただき、その提案の仮説検証のために社員アンケートを実施したところ驚きの事実が判明しました。それは、女性管理職が増えることで社内の雰囲気は変わると思っている人が多い一方で、管理職になりたい女性は少ないという事実です。女性管理職５０％を目標にしているにあたりこの事実が判明したため、今後働き方改革を進めてきたリーディングカンパニーとして、チーム夢子を中心に学生からの提案を実施し管理職になりたい割合の増加に向けて取り組んでまいります。





リスクと機会

- 少子高齢化による生産労働人口の減少にともない、特に、建設業は人手不足が深刻化しており、優秀な人材の確保が困難、女性比率、定着率も低く、男性も女性も働き続けられるための環境整備、制度づくりを行うことは必須と考えます。
- 女性に選ばれる建設産業を目指すため、カンガルー出勤や子育て世帯の女性を積極的に正規雇用することや、会社の意思決定に女性が参画することで、企業力強化を図っています。方法として、【チーム夢子】を中心に、社内環境整備から地域の課題解決にも取り組む機会を提供しています。
- 健康経営を経営戦略と位置付け、社員への健康投資を行っていくことで、健康増進と活力が向上し、組織の活性化と生産性の向上につながり、しいては業績向上と企業価値の向上に期待する他、人材の定着率の向上と優秀な人材の確保につなげています。

※参照　・女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針　・第5次男女共同参画基本計画
・女性活躍加速のための重点方針2020　・女性の定着促進に向けた建設産業行動計画～働き続けられる建設産業を目指して～

健康投資推進協議会への参画

Healthcare for Sustainable Development(HSD）の考えを全国へ



2021年に設立された健康投資推進協議会（以下、協議会）の事務局および委員として、毎月行われる「みえる化された健康投資」検討ワーキンググループ（以下、WG）へ参加しています。協議会は、国が掲げる健康・医療戦略の施策の実現に向け、中小企業が人的資源に対して積極的に取り組めるよう、産官学連携による経営の視点を取り入れた健康増進推進の機運の醸成とルールづくりに寄与しWGを行っています。WGは、東京大学未来ビジョン研究センター古井特任教授を座長のもと、当社代表の西岡が共同代表を務める（一社）SDGsマネジメントや産業保健師、社会保険労務士、金融機関、全国の中小企業経営者および社員など約２０名が参加しており、中小企業経営者の考え方や悩み、リアルな社員の声などに対し立場の異なる委員から多角的に情報や意見交換が行われています。

そのまとめとして、経営に有効なSDGsには様々ありますが、何よりも「働く人を活かすこと＝働く人の健康（Goal３：すべての人に健康と福祉を）」が土台であり、「経営の成長と持続は、働く人の健康そのものである」としてHSDという考え方を採択しました。そして、第1回「中小企業における見える化された検討投資シンポジウム」（協議会、東京大学未来ビジョン研究センターデータヘルス研究ユニット共催）にてHSDの考え方を発信し、中小企業経営者を含む企業をはじめ、自治体、商工団体、健康経営アドバイザーなど200名の皆様にご参加いただきました。当社はパネルディスカッションに登壇させていただき、「健康投資における中小企業への効果」をテーマに中小企業の実践事例として経営者と社員のそれぞれの立場から述べさせていただきました。

社員等の健康管理をコストではなく将来に向けた投資として捉える「健康投資」について
ひきつづきWGを通して学び、取り組んでまいります。

パネルディスカッションの様子はこちらからご覧いただけます

ぎふ脱炭素社会推進コンソーシアム事務局

当社西岡が理事を務める一般社団法人岐阜みらいポータル協会と岐阜商工会議所が共同申請者となり、環境省の令和5年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業において、産官学金連携によるぎふ脱炭素社会推進コンソーシアム（以下、ぎふコンソ）の設立と脱炭素経営を支援する人材育成において採択されました。ぎふコンソは当社を事務局に置き、参画していきます。人材育成においては、一般社団法人日本カーボンニュートラル協会の研修プログラム：カーボンニュートラル・アドバイザー資格を採用し、特にアドバンストのレベルとなる企業内で実務的に脱炭素経営を推進していく人材育成の輩出に寄与していきます。令和6年度以降、同じ考えである岐阜県地球温暖化防止活動センターと関係性を構築し、中小企業の脱炭素経営支援に注力していけるよう土台作りを行っていきます。

今後の目標

SUNSHOW GROUPが目指す姿

今わたしたちが直面する様々な社会課題に対して、ビジネスを通して主体的に解決に向けて取り組むことこそが、地域社会に根付く企業における普遍的企業使命だと考えます。中小企業に課せられた期待は大きく、この企業使命を果たすためSUNSHOW GROUPは、家創りをはじめとする様々な事業活動を通して、活気あるまちづくりに貢献し、携わる皆様と共に成長し意識を高めることで、持続可能な未来をつくる人づくりを行います。

『SUNSHOW.BASE』を起点として岐阜市、岐阜県、やがては日本国、そして世界へ影響力を与えることのできる未来志向の人を一人でも多く増やし、この価値観を拡げていくことで、次世代へつながる豊かな社会を実現します。SUNSHOW GROUPは、社会課題をビジネスで解決できる人や企業を増やすこと、そして、生きがい、やりがい、働きがいを見出し、誰もが活躍できる企業の在り方の一つとして多くの方に伝え、あらゆる変革に対応できる社会を創っていきたいと考えます。

わたしたちは一人の人間の持つ力を信じて『未来を変える人・物創り』をスローガンに掲げ、更なる豊かな社会の実現を目指していきます。

